

分科会長  
(事業者・団体名)

川崎信用金庫

関連する  
主なゴール



設立目的・  
趣旨・概要

子どもたちが成長し、活気ある地域を実現するため、企業等で廃棄されてしまう商品や備蓄品、寄付やフードドライブで集まった食料などが、必要としている子どもたちに届くサイクルの構築を目指して活動します。

活動計画・  
活動内容

計画：やがて廃棄してしまう災害時用の非常食や文房具などを、必要とする子供たちをつなげる

活動①：子どもたちに対する支援の普及促進

活動する支援団体や支援スキーム、取組事例やニーズ等の情報を発信し、活動の普及促進を図る。多くの企業や個人が取組みを始めることで、供給量の増加や平準化を目指す。

活動②：活動に関わる多様な主体のネットワーク化

ネットワークを拡大することで、保管場所や運搬手段といった課題に対し、解決するための協力者やリソースを繋げていく。

活動③：スキームの強化や構築

需要(子ども)、供給(企業等)、リソース(協力者)の見える化やマッチングスキームの構築、川崎オリジナルの備蓄品の開発など、取組みの強化や新たなスキームの構築を行う。



募集したい  
パートナー

BCP対策として災害備蓄品を持つ企業（これから備蓄を始めたい企業）、備蓄品を寄付したい企業、保管場所・物流・システム構築で貢献できる企業、子供食堂の関係者、これらの問題を一緒に考えてくれる方

参加  
メンバー

川崎信用金庫【※代表】、NPO法人アイゼン、旭器機サービス株式会社、NECプロボノ倶楽部、株式会社かみやま、かわさきこども食堂ネットワーク、株式会社川崎フロンターレ、四季京法務事務所、杉本電機産業株式会社、澄川法律事務所、田辺倉庫株式会社、一般社団法人多摩区ソーシャルデザインセンター、TMCシステム株式会社、株式会社日本ライフケア、富士通株式会社、まきまきキッチン、まごころキッチンプロジェクト、美遊JAPAN有限会社、株式会社東洋社